



広報みすず

9
2021

第482号

美鈴が丘まちづくり協議会



子ども食堂

美鈴が丘では子ども会が無くなり、子どもとのコミュニケーションを取る場・笑顔に接する場が少なくなっていた。数年前から「子ども食堂ができたらいいいね」と話には出ていた。しかし民児協にはお金がない。子ども食堂を開くには人・物・お金がいる。そしてコロナ禍の中、子どもの「孤食」の話、勤務状況の変わった若いお母さん達の食事の準備の負担の話も入ってくるようになった。そんな時広島市の「コロナ助成金」のニュースが目に入った。このチャンスに逃す手はない。期限まであと一か月。

まず「人」 民児協全員の協力を依頼。民生委員の中に「更生保護女性会」のメンバーがいて協力の申し入れがあり、有り難く受け入れる。賄い方に「男のゼミナール」に依頼してみたら快諾。また、立ち上げの話を聴いてボランティアの申込みもチラホラ。これで人は揃った。

次に「物(場所)」 公民館と交渉。「厨房」を使わせてください。現在「まごころ弁当」を作るための設備を助成金が入ればこれをより充実させましようということので快諾いただいた。

そして「金」 助成金の申請、行政と数度の打合せで、申請書の作成↓提出↓そして「認可」が出た。「認可とれたぞ! 子ども食堂が出来るぞ!」と欣喜雀躍。

4月第1回目、沢山の子どもの達笑顔と会うことが出来た。「やってよかった」とスタッフの笑顔が弾ける。

次の「難題」 コロナ助成金は3月でおしまい。4月からどうする? 寄付やへそくりで3か月分はあるが、そのあとは金欠で開催を残念ながら諦めざるを得ないか? 捨てる神あれば拾う神あり、紆余曲折、市社協の「チャレンジ応援」の応募。書類審査/面接審査を経て待ちに待った認可。天にも昇る気持ちとはこの事。これで令和4年3月までの運営費は確保できた。コロナのお休みが無ければ、毎月100人で12か月では1200人の大きなイベントになる。助成金に感謝。

前述したように、民生委員はお金を持っていない。令和4年4月からの運営費に頭が痛い。まち協さん、町内の宝物の子ども達の為に高齢者と同じように、年間35万円太っ腹を見せていただかせませんか!! (民児協会長 江島健)

わが街防災

連載6

■避難行動要支援者に対する支援

避難行動要支援者とは、高齢者(要介護3以上)、身体障害者(身体障害者手帳1、2級、肢体不自由3級)、知的障害者(療育手帳A)又はA)、精神障害者(精神障害者保健福祉手帳1級)、難病患者(居宅介護、短期入所、補装具費の支給、日常生活用具の給付サービス受給者)などの災害発生時等の避難に、特に支援を要する方です。2013年6月の災害対策基本法の一部改正により、この「避難行動要支援者」の名簿作成が義務付けられました。2011年の東日本大震災で、障害による避難情報の取得の遅れや加齢による避難行動の遅れなどから、多くの障害のある人や高齢者(避難行動要支援者)の尊い命が失われたからです。災害時に自力で避難することが困難な避難行動要支援者が、災害情報の取得や避難などの手助けを地域の助け合いの中で素早く安全に行うことが出来る。支援体制づくりが求められています。避難行動要支援者名簿に登録されている方のうち、名簿情報の外部提供に同意が得られた方のみを登録した同意者リストが平常時から避難支援関係者(民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、町内会・自治会、自主防災組織、消防団、地域包括支援センター、障害者基幹相談支援センター)に提供され、連携して災害に備えておられます。

■まとめ

防災に対する考え方に「自助」「共助」「公助」があります。「自助」とは自分の身は自分で守る、「共助」とは、自分たちのまちは自分たちで守る、「公助」とは、市や県、国、防災関係機関が住民等を災害から守るという考え方で「自助」「共助」「公助」がそれぞれの役割に応じて有効に機能することで、災害による被害の軽減を図ることが出来ます。このうち「共助」の要となるのが、美鈴が丘の場合、17町の各自主防災会ですが、各町内会行事などから出るだけ参加し、平日頃からの顔の見える関係など近所との良好な人間関係を築いておくことが大切です。

(前防災部長 古田陽久)

◆爆笑大騒動

ある日のお昼前の話。玄関の扉を開けたままほんの7、8分ちょっと外出した。(実は閉め忘れたのだ)、家に帰ると開いた玄関の中からなにやらゴソゴソと音がする。空き巣? いやいや人間様なら私の帰ってきた気配で音などさせないはず。「猫?」だなどと思い、壁をトントン叩きながら「出てこいや」と、居間の方からそっと顔を出したのは見たことのない動物、「あれ?? 猫じゃないな。あつ、こいつだ」昨日友達から来ていたメールを思い出した。「裏庭にアナグマ3匹出ました。爪が鋭いので気を付けてくださいね」こいつだ。「コノヤロー出ていけ」と追いかけたら走って玄関から逃げに行った。

「気」を感じ振り返ったところ、そこにまだ2匹のアナグマがいるではないか。あわてて外に追い出して一件落着。被害はスूपの素一袋だけとはいかない。野生動物がダニやらシラミの置き土産を残していたら大変だ。掃除機を念入りにかけてやっと終了。大騒動の30分でした。皆さんも玄関の扉を開けたままにしていたら、アナグマ君に会えるかも。

(民児協会長 江島 健)

◆「ポイ捨てタバコ」の悪癖を考える

①環境汚染の問題。タバコ吸い殻のポイ捨てが無くなり。健康志向の高まりで喫煙者が減り、喫煙場所が大幅に減少しているが路上には「吸い殻」がかなり目立つ。タバコ自体、有害物質の塊。雨で排水溝から環境へ。喫煙者は「タバコの吸い殻」が、環境の中で



どんな悪影響を及ぼしているか自覚していない。「吸い殻」にはニコチン、ヒ素、カドミウム等の毒性の高い発がん性物質が濃縮されており、生態系に大きな悪影響を及ぼす危険性がある。

②子ども達がマナー違反の「ポイ捨て」を真似る。学校では「ゴミのポイ捨て禁止」と教えられるも現実では大人が平気で「ポイ捨て」を実行。そこで子ども達は、本音と建前と云う大人の悪癖を自然に学習し都合よく使い分ける。「子どもは町の宝」と、未来を託し大切に育てていくべきなのに大問題。子ども達には「ゴミ拾い」などの、未来に繋がる良い習慣を身をもって示し、お手本となるべきと考える。

◆交通安全にご協力ください

夏の交通安全週間

(7月11日～20日)も何事もなく過ごすことが出来、もう一度原点に戻ってのお願いです。

◆運転手の皆さんに!

①幹線道路を運行時は法定速度の厳守、宅地路地の走行は徐行運転を励行して下さい。

②児童たちの登下校の際、横断歩道に児童たちを見かけたら必ず停車して下さい。

③停駐車禁止区域(郵便局前)での駐車はご遠慮ください。

④飲酒運転は絶対にして下さい。

◆歩行者の皆さんに!

①横断は必ず、横断歩道にて渡りましょう。

②横断する時は、必ず手を挙げて運転手さんに横断する意思表示をしましょう。

③歩行、自転車のながらスマホはやめましょう。

④ウォーキング、散歩の時は出来るだけ歩道を歩行して下さい。

◆令和3年広島県交通安全年間スローガン

「ゆとりある心と車間のデスタンス」



◆美鈴が丘レスキュー隊参上

美鈴が丘には困った時のお助け隊なる制度があります。ゴミ出し、草むしり、書類の確認、電球の球替え、家具の固定、玄関周りの簡単な掃除、空き家の簡単な管理等、生活上ちょっと困って応援してもらったら嬉しいなということなどを支援してくれる制度です。支援してもらえる方は、原則要支援、要介

護の認定を受けている高齢者の方ですが、それ以外でも高齢者家族の相談に応じています。包括支援センターが申し込みの窓口になっていますのでご相談ください。



K邸 作業前

K邸 作業後



Y邸 作業前

Y邸 作業後

◆美鈴が丘公民館

学習グループのご案内

りんりん絵手紙

活動開始は平成15年。

松野秀子先生の御指導を受け毎月第4木曜日に活動しています。メンバーは13人、楽しく学んでいます。

活動内容はハガキ、大判ハガキ、巻紙などに、筆、サインペン、マーカー、割りばしなどを使用して、季節の花や野菜を描いたり、ゴム印作りをしたりし

ています。手描きの温かさを届けたいと、相手のことを思いつつ筆を走らせております。

(代表：岡崎八重子)



公民館へ展示

次世代をつなぐ元氣 美鈴つ子 ⑭

今回は美鈴が丘西の仲良し兄弟をご紹介します。

最近ちよっぴり反抗期、正義感が強くて真面目な樹来とまだまだ泣き虫、恥ずかしがり屋だけども調子者の樹龍。毎日、喧嘩もしますが、ペットのコロンと2人がじゃれあっている姿にほっこりします。美鈴が丘へ来て、たくさんのお友達ができました。これからもみんなと仲良く過ごして欲しいです。



仲良し兄弟

◆夏休み子どもエコ教室

7/28・30、8/4・5

猛暑続く中、西集会所にて毎年恒例のエコ教室が行われた。コロナ対策として学年毎に日程を分け、マスク着用、検温、手洗い消毒、

充分な換気、隣の席との間隔を空けるなどの配慮のもと、参加した児童の号令と共に朝8時からスタート。自習学習の他、地域ボランティアの方からの防災についての質疑応答、

交通ルールについての話し、美鈴が丘高校の生徒さんからの話し等、子ども達にとって思い出に残る貴重な時間となった。



涼しく学習

◆「旗振り講習会」

7/2

美鈴が丘小学校体育館にて、「旗振り講習会」を行いました。地域の見守りの方や保護者、約30人が参加し、

広島市道路管理課の方の指導のもと、児童を安全に横断歩道を渡らせるための誘導方法を学びました。普段から子ども達の登下校を見守ってくださる地域の皆様や登校指導をしてくださっている保護者の皆様には感謝申しあげます。

(教頭：上田)



実習風景

◆パステルアートにチャレンジ 7/25

公民館にてパステルアートにチャレンジが開催された。講師はColorful Pearl代表の森脇典子先生。8



出来上がった作品

人が参加。まず原爆直後の広島を描いた映画『ハトよ ひろしまの空を』を鑑賞後、それぞれ平和の想いを込めて作品を仕上げる。きれいに出来上がり満足の様子で楽しかったとの声。

(平田)

◆パン作りに挑戦

高橋敦子さんの指導のもと公民館で「パン作りにチャレンジ！」が開催されました。参加した子ども達は小学1年生から5年生までの16人。フルーツゼリーと、色々な形のパンたち。初めて参加



実習室でパン作り

した一年生の女の子は「初めてだけど、楽しかった。」また他学年の子ども達は2、3回目の子が多く、焼き上がりのパンを見て「思っていたより膨らんだ。」と驚いた男の子もいました。パン作りの時間は楽しく終わりました。

(安藤)

◆おもちゃ病院 8/1

公民館にてボランティアの方々がおもちゃの診察・治療をされています。最近ではIC系のおもちゃが増えて難しい。また電池を入れたまま放置すると液漏れで、有毒な成分が出てきたりするので、使わない時は電池を外して下さい！との事で、目の前にあるおもちゃに苦悶されている姿に感動と情熱を感じました。

(松野)



修理中



美鈴が丘女子MBC優勝

◆美鈴が丘女子MBC
が見事優勝
第45回全関西ミニバスケットボール交歓大会(全24チーム)に於いて、MBC(部員21人)が見事優勝。予選リーグ2試合、1位リーグ3試合を勝ち抜き、決勝では愛媛宮内に対して39対38の僅差で勝利を収め見事優勝した。秋の全国大会予選に向けて更なる精進を重ね、全力で取り組み更に全国大会優勝目指して頑張るとの意気込み!全国大会は令和4年3月に国立代々木体育館で開催される。



打ち上げ手順の確認
(単発にするか連射にするか等)



消防による事前確認



打ち上げ台

◆花火の打ち上げの瞬間は迫力満点
8月7日(土)夏祭りが中止になり、代わり



大空に大輪の花火



打ち上げの瞬間

に花火が打ち上げられました。小学校の校庭からの打ち上げを取材。花火は三号玉及び四号玉合計50発、火種を投入するとボン!と爆弾の破裂の様。打ち上げ瞬間の迫力は半端なかった!花火は下から見ても、横から見ても一緒だった(球体の為)。50発あつという間に終了した。



西集会所にて



きれいに咲きました

おめでとうございます。
◆街角ウォッチング◆



優秀地域安全推進員表彰
・阪井孝一(緑二)さん



◆表彰
佐伯区公衛協功労者表彰
・山城 剛(南二)さん
・松村健次(東三)さん

■お知らせ・催し
9月11日(土)
。子ども食堂(中止)
9月12日(日)
。第33回グラウンドゴルフ大会(体協)中止
10月30日(土)
。子ども110番情報交換会(延期)
11月21日(日)
。クリーンキャンペーン
。防災訓練



殺傷能力も高いクロスボウ

◆お知らせ
(クロスボウ)
銃刀法が改正され、クロスボウの所持が原則禁止・許可制になりました。令和3年6月16日(公布日)以降クロスボウを不法に所持した場合、罪に問われます。所持している方は改正法施行後6か月以内に許可申請するか、警察に処分を依頼する必要があります。

広報みすず
第482号
発行日
令和3(2021)年9月10日
編集
美鈴が丘まちづくり協議会広報部
発行
美鈴が丘まちづくり協議会

おきやみ
7/2 蓮池 祐子様(78)西5
8/16 山迫 郁子様(102)緑1
ご冥福をお祈りします。

こんにちは赤ちゃん ③
お誕生おめでとう。
竹中 流佑くん
6/8(緑2)
編集後記
昨年当初から続いているコロナ、いつこうに終息の兆しが見えてきません。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などの為あらゆる活動に自粛を強いられています。また季節外れの梅雨末期のような線状降水帯による豪雨災害など暗い話題が多く、広報みすずの作成編集に苦労しているのが現状です。子ども達の話題、赤ちゃん誕生の話題、皆様からの明るい話題を御送り頂けることを期待しています。